



世界ウイグル会議
World Uyghur Congress
دۇنيا ئۇيغۇر قۇرۇلتىيى



2009年7月6日 世界ウイグル会議「東トルキスタンで発生した虐殺事件に関する声明」

中国共産党政府がウイグル人に対して行ってきた民族的差別や抑圧、そして同化政策などの結果、ウイグル地区から沿岸部の広東省のおもちゃ工場に強制移送されてきたウイグル人たちは同工場の漢民族従業員たちにより虐殺される事件が発生した。この事件で60名近くのウイグル人が殺され、100名を超えるウイグル人が重傷などを負った。

そして今日7月5日、広東省で発生した悲惨な虐殺事件、そして長く続いてきたウイグル人に対する民族的虐殺に抗議するため、ウイグル民族がウルムチの中心地4か所に集まり計1万人が参加し、平和的なデモで自らの不満を表した。しかしこのデモは多数の警察、軍や車両の出動で武力的鎮圧を受けた。

世界ウイグル会議が直接現地から入手した情報によると、この武力鎮圧で死亡した人は100人を超え、多数が負傷した。この中で幼い子供や女性もいた。

酷いのは、ウルムチの人民広場、南門、ラビヤ・カーディルデパートの前、延安路、陶器工場前などのいずれのデモ場所も一律悲惨な虐殺を受けた。軍の車両下で踏み殺された。軍・警察の銃で殺された。暴力で殺された……

我々の把握した情報では、すでに逮捕された人は1500人を超える。全ウイグル地区ですでに軍事態勢が敷かれている。一方、ウイグルの阿克苏県でも7月5日の夜からデモが始まっていることが分かった。カシュガルで起こっているデモについてはまだはっきりとした情報を入手していない。

世界ウイグル会議としては、全世界の民主主義国家や国民、人権団体などがこの事件に緊急な対応を取り、ウイグルで中国軍や警察などに虐殺されているウイグル民族を助けるよう促す。国連やNATOなどが関与し、検察団を派遣し、平和秩序を守り、冷静に対応し、今でも虐殺が続いているウイグル民族を一刻も早く鎮圧軍から守るよう呼び掛ける。



世界ウイグル会議とは…東トルキスタン民族運動を統一させるために世界各国にあるウイグル人組織によって結成された、国際社会で唯一合法の最高指導機関。2004年4月ドイツで開催された総会で、東トルキスタン民族会議と世界ウイグル青年会議の合併により誕生した。平和的、民主的な手段により、ウイグルの人々の自由、民主、人権、民族自決権、そして、東トルキスタンの政治的独立の獲得を目的として活動している。総裁は「ウイグルの母」とも呼ばれるラビヤ・カーディルである。★世界ウイグル会議

<http://www.uyghurcongress.org/jp/>

日本ウイグル協会とは… 在日ウイグル人と日本人支援者によって2008年6月に設立。以後、世界ウイグル会議の傘下組織として、日本での東トルキスタン民族運動とウイグル地域の人権問題の周知活動を行う。会長は、世界ウイグル会議、日本全権代表のイリハム・マハムティである。★日本ウイグル協会 <http://uyghur-j.org/> ※日本ウイグル協会への支援や入会案内については協会ホームページをご覧ください。



ラビヤ・カーディル